

～ロス食材を使った子ども食堂～

高校生ボランティア・アワード2024

「高校生が発案！ 子ども食堂」

廃棄される予定の食品を活用し、子ども食堂として近所の子供達に提供する



「廃棄される食材を使って子供達に良い食育を感じてもらい、身近な貧困を減らしていく」

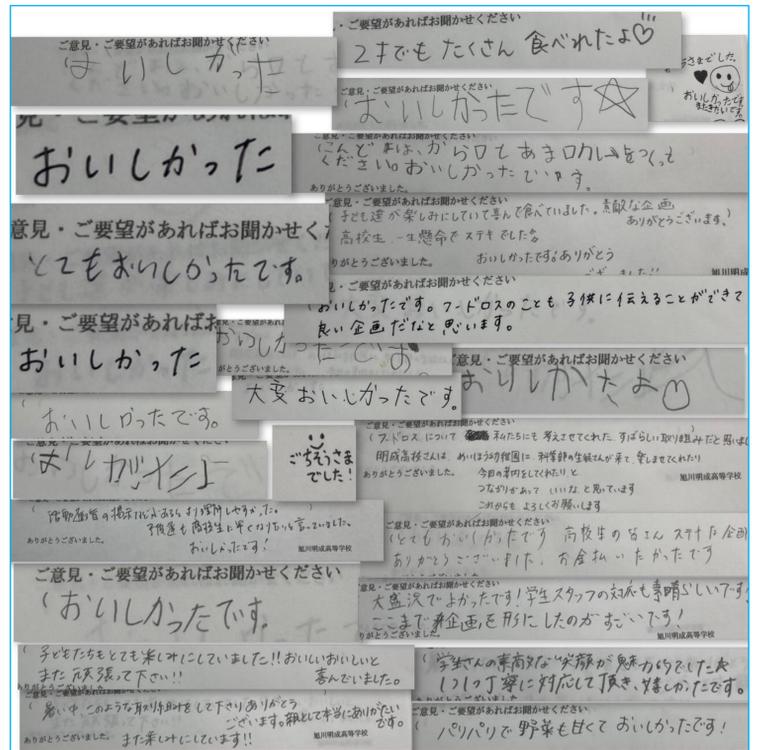
食品ロスを減らしつつ、子供達にSDGsのことを考えてもらう

提供した食材から作り出される料理を通して、親子のコミュニケーションの機会をつくる。

「地域の絆・支え合い」

- 4月: 昨年度の実践の振り返り
- 5月: 協力してくれる人を募る
お互いの強みを出し合い、
食材の入手や協力体制、
提供する食品を何にするかの話し合い
- 6月: 料理決定、ポスター作成
- 7月: ポスター配布、廃棄される食材の確認
- 8月: 実施及び振り返り、課題の抽出
- 9月: 今後に向けての準備

昨年提供した食品の内容(約100食)
夏野菜の無水カレー、天ぷら、豚肉の野菜炒め



昨年度実施した子ども食堂に参加した親子の声

「食品ロス×子ども食堂」

私達は、地域貢献とSDGsの解決につながる高校生としての取り組みを今後も続けていきたいと考えています。

スタートしてくれた先輩の思いを大切にしながら、後輩へとつなげていける活動にしながら、参加した子ども達が、逆に提供する側になっていけるような息の長い取り組みとなるよう、支え合いながら前進していきます。



旭川明成高等学校未来タイム
生徒が自主的に自分の将来や地域や地球の未来について考え、自主的に活動する時間が「未来タイム」です。その中で集まったメンバーの取り組みです。

1年2名 2年7名 3年1名
結成2023年
実施歴: 2023年夏に1回